

氷づくり

先月の末頃から、ぐっと冷え込む冬らしい日がありましたね。冬の絵本を読んでいるときに寒い日は氷ができることを知ってから、すごく寒くなる日を楽しみにしていたもも組の子どもたちは、どんどん寒くなっていることを肌感覚で気付き、「明日はすごく寒くなるって天気予報で言った」と、様々な入れ物に水を張って園庭に置きました。初日は思っていたほど凍らず、「こんなに寒いのに」「この場所は暖かいのかもしれない」と水を置く場所を変えたり、水を増やしたりして試行錯誤する姿が見られました。

その後、プールに残っていた水が、見事に凍っており、大喜びのもも組は、園庭ではなくプールに水を置いておくと決めて、プールやシャワーに水を張りました。翌日、出来上がった氷に「冷たい!」「先生見て大きい!」「触ってみて」と大喜びのもも組。自然の不思議を感じながら、季節特有の遊びを楽しみました。



「全部凍ってる!」



「冷たい」
「つるつるや」



「プールの底も凍ってる!」



「大きい氷!」

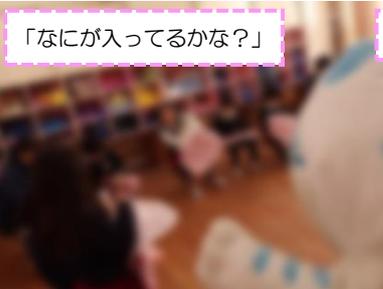


「見て見て!」



とらねこたいしょうからのプレゼント

発表会后、とらねこたいしょうから11ぴきのねこの自由画帳をもらいました。みんな大喜びで、とても集中して色塗りをしたり絵をかいたりして遊びました。劇遊びで存分に遊んだ、楽しい思い出や経験があるからこそ、かける絵があると感じました。これからも心をたくさん動かして、様々な表現活動を楽しんでいってほしいです。



「なにが入ってるかな?」



「塗り絵もある!」



「たいしょう、見ててね」



「みんなで絵をかこう」



「そら組さんになりたいな」

後もう少しでそら組とお別れという寂しさを感じつつ、自分たちももう少しでそら組になるという期待をもっているもも組の子どもたち。今年一年、そら組に対してたくさん憧れの気持ちをもち、影響を受けてきました。最近、そら組が発表会で合奏した楽器を貸してもらったり、そら組が部屋で遊んでいるドミノを分けてもらったりして、そら組の遊びを真似て遊んでいます。

園庭では、台の上に登って大縄を回す姿があり「あか組さんを誘ってみたら?」と尋ねると「誘いたいけど恥ずかしい…」と照れつつも、皆で「あか組さん大縄しませんか〜!」と誘いました。あか組が懸命に跳ぶ姿に合わせて回し「上手だね」「すごいね」とお兄さんお姉さんの気持ちであか組を温かく褒める姿がありました。年下の友達に優しくしてあげたいという気持ちをもっていることを嬉しく思います。あと少し、もも組での日々を楽しんで、素敵なそら組になってほしいです。

